



～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

おばねっ子の挑戦心に拍手！～数学検定に 110 名が挑む～



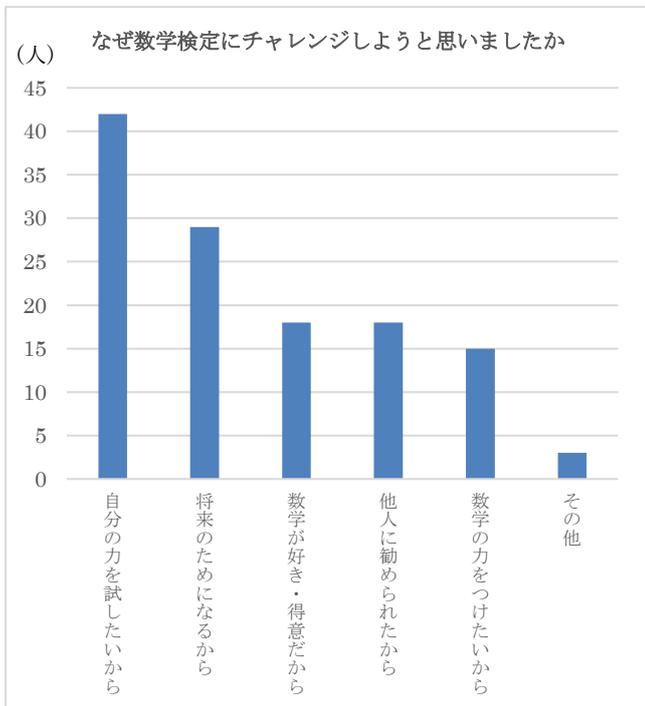
今年度より「尾花沢こども未来 PLAN」の施策として、小中学生のさらなる挑戦心の醸成をめざし、英語検定と漢字検定に加え、数学検定も年 1 回分の検定料を助成することとしています。

12 月 2 日（土）に、尾花沢市役所の大会議室等で数学検定を実施したところ、中学生 66 名、小学生 44 名（小 2～小 6）の計 110 名の参加を得ました。

ほとんどの受検者は、学校以外での受検は初めて、ということもあり、開始時はだいぶ緊張した面持ちでしたが、「緊張感があって楽しかった」「充実していた」という感想に代表されるように、終了時には達成感に満ちた清々しい表情で帰っていく姿が非常に印象に残りました。

今号と次号の 2 回にわたり、受検者へのアンケート結果から考察してみたいと思います。

■ 数学検定を受検した理由



【考察】

- ・「自分の力を試したい」が最も多く 34%。「100 点をとりたい」「チャレンジそのものが大切」「学校外での受検に慣れる」など前向きな回答ばかりでした。
- ・「将来のためになる」は 23%。高校入試を控えた中学 3 年生に加え、一部の小学生も「大きくなったら役に立つから」と回答していました。
- ・受検を勧めたのは、小学生は「お母さん」、中学生は「先生」が多かったようです。
- ・「数学の力をつけたいから」の中には「数学が苦手だから」という回答も多く、自分の課題を克服したいという強い思いが感じられました。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
 教育指導室長 工藤 雅史
 TEL 23-3330